

成人おめでとございます



8月15日(月)、市内4会場で成人式が行われました。各会場とも厳粛な雰囲気の中に参加者の若い熱気と社会人への新たな決意に満ちた表情が印象的でした。これからの佐渡市の未来を担う若者への期待をこめて来賓の方々からも温かいメッセージが伝えられました。新成人の益々の活躍に期待します。成人おめでとう、羽ばたけ未来へ!!



両津会場

両津地区の成人式には130名の新成人が出席しました。

両津地区では島内在住の新成人6人でつくる成人式実行委員会が企画、運営を行いました。式では、親松東一助役が新成人に向けて高野市長のメッセージを伝えると成人式実行委員の赤松佑太郎さんが、「これから多くの困難に直面しても一つ一つ乗り越え、人と接する楽しさを感じ、優しい大人になりたい」と応え、誓いを新たにしました。



ティーパーティーでは、それぞれに懐かしい友人同士で談笑し、手作りでアットホームな成人式は幕を閉じました。新成人の佐藤美菜さんは、「久しぶりに友達と顔を合わせる事ができて、とても嬉しかったです。これからは、自分の行動に責任を持ち、立派な大人になりたいです。」と話してくれました。

相川会場

相川地区の新成人は男性63名、女性59名、計122名です。新成人を代表して斉藤孝夫さんが、「私たちはこの20年間、両親をはじめ周囲の方々からの愛情に包まれ、支えられて今日、成人式を迎えることができました。この日を境に社会人として、日本の次代を担う重責が課せられるわけです。言葉では簡単ですが、自分自身の行動に責任を持ち、多くの先人たちが築きあげてきた豊かで平和な世界を未来へ引き継ぐ努力をしていきたいと思えます。」と力強く誓いの言葉を述べました。



国中会場



国中会場の成人式は佐和田地区、金井地区、新穂地区、畑野地区、真野地区の新成人290名が出席しました。

式典では市長はじめ来賓の方々から新成人への激励のメッセージをいただきました。祝電披露記念品の贈呈が行われた後、新成人を代表して真野地区の山本志乃さんが、「生れ育った佐渡が島がより新鮮で活力ある住みよい島となるように希望と情熱をもって行動し、新成人として期待に応えられる社会人となるよう努力する。」との誓いの言葉を述べました。



南佐渡会場



南佐渡会場では小木地区、羽茂地区、赤泊地区の新成人を対象に行われました。成人対象者117名のうち、94名男性50名、女性44名の皆さんが出席しました。

式典では市長をはじめ、来賓の方々から人生のアドバイス等、温かいお言葉をいただきました。新成人からの佐渡へのメッセージでは、「いつまでも、綺麗なふるさとでありまうように」、「いつ帰ってきてても温かい佐渡であって欲しい」、「自分分が帰ってきたら、もっと元気で、楽しい佐渡にしたい」、「市への強い思いを感じました。」



新成人の抱負と声

(両津・国中会場より)

・佐渡に「とき」を飛ばせたい。佐渡の自然を守り、国土を守る仕事に佐渡で就きたいと思っています。

・成人したのでしっかりと自分に責任をとれるようになりたいです。また、きちんと就職し、親を安心させてあげたいです。

・現在、過疎化が深刻な問題となつていますが、すばらしい文化や歴史、自然豊かな島に働く場と人々の活力があふれるようになるとういと思います。

・成人式に出席することで自分を見つめなおし、改めて成人としての自覚を持ち、一日日を大切に、何事にも積極的に挑戦していききたい。

・ひとつ、ひとつの言動や行動に責任をもち、向上心を忘れずに前進していきたい。

・将来は佐渡に帰って働くので、佐渡のますますの発展を願います。



自分自身も成人としての心得をしっかりと持ち、成長していきたい。今は佐渡を離れています。これから佐渡島民として生まれ



たことを誇りに思い、芯の強い人になりたいと思います。お父さん、お母さん、私がんばるよ!!

・ウターンしたくても仕事がない。遊ぶ所や他県への交通費も高い。どうなる私の10年後と家族。ガンバレ佐渡?

・若い人が働けるような仕事場がたくさんできてくれるとういと思います。

・佐渡を離れて佐渡の良さを知りました。美しい自然の中にもみを見ると悲しくなります。こみのない市を行政と共にめざしたいものです。

・社会人としての厳しさを日々実感して生活していきます。早く一人前になれるように頑張りたいと思います。



平成17年成人式地区状況

開催ブロック	地区	対象者	参加数	開催ブロック	地区	対象者	参加数
両津地区	両津地区	204	130	南部地区	小木	24	16
	相川地区	122	83		羽茂	52	40
国中地区	佐和田地区	129	79		赤泊	41	39
	金井地区	108	64	南部小計(3地区合同)	117	95	
	新穂地区	56	32	合計	全体	871	584
	畑野地区	58	44	各地区の対象者は次のとおりです。			
	真野地区	77	57	両津・相川・国中地区	昭和59年4月2日～昭和60年4月1日生		
	国中小計(5地区合同)	428	276	南部地区	昭和60年4月2日～昭和61年4月1日生		



行政改革推進委員会
中間答申

行政改革大綱骨子、平成18年度組織について

8月26日(金)に開催された

第4回佐渡市行政改革推進委員会(委員10人)では、市長から

諮問されていた「行政改革大綱の策定方針」

「組織の合理化」

平成18年度組織について」の2項目について中間答申が出されました。

答申では、行政改革大綱の策定方針として、時代の変化に対応した新しい佐渡市の形成のため、次の4つの基本方針を定めています。

効果的・効率的な行政運営の推進

組織・機構の整備と新たな人事管理制度の構築

市民の視点に立った行政サービスの提供

宇留間会長から市長へ答申書が渡されました

市民協働によるまちづくりの推進

平成18年度組織については、これまでの経過、現状を考慮し、「部制」を導入し円滑な組織運営を図る。

支所については横断的に課・係の統合を進め、住民サービスの低下させないよう窓口機能の充実が必要。

学校・保育園・幼稚園等については早急に方向性を示し、効率的な運営を進める。等の内容となっており、実施にあたっては情報公開を行い、市民の理解を得る努力が必要とされています。

委員会では、この他の諮問事項については更に検討を進め、今年度末までにすべての項目について答申を行う予定としています。

市ではこの中間答申を受け、佐渡市行政改革推進本部において5年後を目標とした「佐渡市行政改革大綱」の策定を進めます。組織については、より効率的・機能的な体制はどうかあるべきかを考慮し、直ちに具体的な再編作業を始めます。

行政改革委員会の記録は、佐渡市ホームページ

<http://www.city.sado.niigata.jp>

に掲載しています。